



か え で ゆ う び ん 1 月 号

2023年1月1日
社会福祉法人 清松学園
幼保連携型認定こども園
か え で 保 育 園
園 長 引地 美津代

あけましておめでとうございます。2023年。うさぎのように軽やかにそして元気よくジャンプして飛躍できるような一年になればよいですね。



昨年末、西宮市との会議に参加しました。その中で西宮市が掲げている「待機児童解消」での新設園の開設の話もありました。

ここ何年かは一部の地域を除いては、保育園・こども園も0歳児の入所に空きが出るようになってきているのが現状ですが、市はまだ新設園の開園の公募をされることに少し危惧しながら話を聞きました。

かえで保育園では待機児童解消で開園から3年目には60名の定員から70名に受け入れ枠を広げ、かえでの保育を希望する方にも就労以外でも入園できるよう3年前にこども園に移行して現在に至ります。昨年から0歳児からの入所の方が比較的受けられる状況に変化し、そして相変わらず1歳児の待機が出ている状況です。国の少子化と人口減少はまだ大きく影響はしていませんが、昨年10月に育児休暇制度の変更が義務化され「パパ育休」が取りやすくなりました。出産から産後、母親の役割が9割以上が当たり前の時代から、家族皆で時間をかけて進めていける子育て制度に移行したことで「子育ての方法」が随分進化したように思います。

かえで保育園の子育てへのサポートでは、どんな小さなことでもできる限り園でのお子様の様子をお伝えし、保護者の方々と共有し、伝えあうことを大切に進めてきています。

人格を形成するこの幼少期に人との関りを深めていく環境を大切に保育を計画していきます。その中で困った時もうれしいときも自分の周りには自分を理解してくれる人がいることを知っていきます。

楽しい、うれしい気持ちは互いに分かち合うことで心が豊かになります。また、反対に困ったり、うまくいかないことにも出会います。仲間や見守る大人がいることで困難なことに向き合いながら乗り越えていく力や適応していく力などが育ってきます。そして気づくと外的ストレスにも打ち勝つ強い心が持てるようになる。かえでの生活では「心の循環」を大切に、職員と共に一人一人の「心の力」を育てていきたいと思っています。

今年も様々な場面でお子様の「力」を確認しながら、導いていきます。2023年もよろしくお願いいたします。

お知らせ

- ・園が休園の際の緊急連絡先は080-9500-1997(園長携帯)にお願いします。
7:00~19:00、緊急の場合はその時間外も可。
但し、すぐ出られない場合もありますので、ご理解ください。

おねがい

- ・冬支度について
これから園庭では体を動かして遊びます。
たくさん重ね着をせず動きやすい服装にしてください。
(綿の半袖シャツ・トレーナー・上着で調節)

1月の予定

- ・4日(水) 保育希望の方はお弁当日となります
- ・13日(金) 西宮市監査
- ・18日(水) 全園児お弁当日
ひかり・だいち ゆきあそび
- ・21日(土) 西宮市研修 (就労の方のみ)
- ・25日(水) 月例健診
- ・27日(金) だいちクラス懇談(夕方に行います)
- ・体操 6日(木)はお休みです。 12・19・26日(木)
- ・絵画 11・23日(水・月)
- ・12月29日~1月3日 休園

2月の予定

- ・15日(水) おもちつき
18日(土) 新入園児健診
説明会は後日行います。
- ・0・1歳児の夕方訪問ウィークを行います。
1/31・2/1・2/2・2/9・2/10
詳しくは後日お知らせいたします。



新しい一年が始まりました。ゆっくりと年末年始をご家族で過ごせたご家庭や仕事で限られた時間で過ごされたご家庭等、それぞれの新年を迎えられたことと思います。休みの間も感染症対策をしながらも体調を崩さないよう気にされながらの時間だったと思います。まだまだ気にかけてながらの生活ですが寒い冬でも元気に過ごしていきましょう。

さて、12月に行われた「かえでフェスティバル」はいかがでしたでしょうか?かえで保育園では、行事のために行事を行うのではなく、毎日の遊びを通して子どもと保育者がクラス担任関係なく全体で作っています。だいちぐみの今年の発表は準備を手伝ってもらいながら先生と共にアイデアを出し合ったりして発表しました。

今年も幼児クラスだけになりましたが、ランチルームで行い、異年齢で日頃歌っている歌や合奏あそび、みんなが大好きな「おいしいのぼうけん」での劇遊びを進め披露しました。子どもたちの生活の中での一コマですが、だいちの子どもたちから、何か用事で事務所に入ってくる際、誰から始まったのか、入ってくるときには必ずドアをノックしてくれるようになりました。「ドアが閉まっている時はノックをする」などのマナーは大人の様子からの模倣でしょうか。・今年も子どもたちの小さな成長が大きな成長につながっていく様子を楽しみに過ごしていきたいと思います。

主幹保育教諭 藤森 寿美

明けましておめでとうございます。慌ただしい年末を駆け抜けて迎えた年明けは、何だか空気も澄んでいるような、新しい年の始まりに胸が膨らみます。2022年の経験があってこそ迎えられた新年、沢山の出来事やお世話になった方々に感謝しながら一日一日を大切に過ごしていきたいものです。さて、皆様のおうちに、16匹のかわいいうさぎたちは届きましたでしょうか。今年の年賀状は、移動動物園にもやってきたうさぎを見返しながら、だいちさんが思い思いのうさぎを表現してくれました。色も形も様々ですが、「もう少しいろいろ混ぜた方がいいかな」「このポーズのうさぎにしよう」とこだわりの詰まったうさぎたちは個性豊かで、見つめていると笑みがこぼれます。子どもたちが表現する時には“上手”に描くことよりも、表現する楽しさを存分に味わってほしいと思っています。だいちさんの描いたうさぎたちのように、今年ものびのびと一人ひとりの想いや興味を発揮し広げていける一年となるよう願っています。

主幹保育教諭 河本彩奈

今月の子どもたちのようす

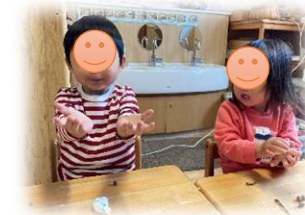
12月のかえでの様子をご紹介します。



お花紙を丸めたり、ちぎったりして紙皿に貼ってクリスマスリース作りをしました。めばえ組で育てたひまわりの種も使って素敵な模様のリースが出来ました。



初めての体育遊びをしました。いつもお兄さんやお姉さん達がしている姿を見て興味津々だった子ども達。思いっきり身体を動かし、サーキット遊びを楽しみました。



紙粘土に絵の具を混ぜたり、どんぐりを付けてクリスマスツリーの飾りを作りました。感触遊びが苦手な子もお友達がしている姿を見て、一緒に楽しんでいました。



友だちとの関わりが多く見られるようになっためばえ組の子どもたち。友だちが泣いていると、優しく肩を叩いたり、頭を撫でたりする姿が見られます。またお友だちのしている遊びを真似したり、トンネルを潜る友だちを追いかけたりして遊んでいます。



はさみを使って一回切りをした紙に糊を使って貼りました。「これはいちご！ぶどう！」など画用紙の色を果物に例えながら貼っていました。また1本指で優しく塗るときには、糊の面を下にして貼るように意識しながら丁寧に組み立て、最後には大きな虹ができました。



にじの積み木を使って新しい遊び方に挑戦しました。自転車のような形を作ったり、子どもが中に入れる程の広さを作り、お友だちと一緒に入ったり木の積み木を敷き詰めてみたりと様々な遊び方をお手本を見たり、子どもたち同士で考えながら毎日楽しめるようになりました。



ワールドカップが開催されてから、サッカーに触れる機会があり、つぼみ組も挑戦してみる事にしました。保育者やお友だちとパスをする際に、勢いよく助走をつけたり、ボールを蹴りやすい位置に用意してから蹴ってみたり、お友だちを応援してみたりと子どもによって楽しみ方は様々ですが、寒い中でも身体を動かして一緒にサッカーを楽しみたいです。



冬になり身体を動かす遊びや集団遊びを楽しんでいるいぶきさんですが、中でも子ども達に人気なのが「だるまさんがころんだ」です。最初は保育者も遊びに参加していましたが、慣れてきた今は自分たちでゲームを展開して楽しんでいます。「はーじーめーのだいいっぽ！」と声を揃えて一歩進んだ後は真剣勝負の始まりです。



冷たい風が吹くと「寒い～」と呟きながらも、数人集まると鬼ごっこやサッカー、大縄跳びで身体を動かして遊ぶ姿が増えてきました。夕方にはだいち組のだいぼうけんの日をきっかけに、中国で流行っている『小さなリンゴ（リトルアップル）』を掛け声と共に踊っています。音楽と楽しい声が聞こえてくると「はじまった！待って～」と外へ駆けだし踊っています。



泣いている友だちがいて「どうしたの？」「どこかいたい？」と優しく声を掛け合う子どもたち。保育者が間に入らなくても自分たちで物事を解決していく様子に成長を感じます。又、泣いている友だちの頭を撫でてあげたり、背中をさすってあげたりと「友だちへの思い」を受け止められるようになってきました。



かえでフェスティバルの作品をつぼみ組、ひかり組ペアと一緒に見てまわりました。「これお兄ちゃんが作ったの？」「すごいね」と目を輝かせながら作品を見ているつぼみ組の様子に、照れながらも嬉しそうに思いのこもった作品を紹介していました。



今、だいち組がいぶき組のお世話をしてくれているように、年明けから徐々にひかり組もつぼみ組のお世話をしてくれるようになります。お昼寝後に優しく起こしてあげたり、幼児の部屋で少しずつ過ごす中で、お世話をする子ではなく、一緒に過ごすことが楽しいと思える存在であってほしいです。



かえでフェスティバルでは、好きなこと発表で子ども達が興味のあることについて少人数ずつで発表しました。その後、たねチームのアボカドの葉は新しい芽が出てきています。生き物チームは冬になり、家に葉をたくさん入れるなど冬眠の準備をしています。SDGsチームは、12月23日SDGsマークの入ったボールを各クラスに配りました。サンタさんのように嬉しそうに配っていました。園外先でもSDGsを心掛けゴミが落ちていないか確認し、クラス全体で意識するようになりました。それぞれのチームかえでフェスティバル後も引き続き取り組んでいます。

SDGsチームがボールを配っている様子



大事に使ってね



2023年の干支を描きました。「子丑寅卯辰巳…」と数え、「次はうさぎだ」と移動動物園のうさぎの写真をしながら輪郭は墨汁、色は絵の具で描きました。目、耳、しっぽなど一つひとつ見ながら丁寧に筆を使うことを意識しました。どのうさぎも可愛らしい優しい色合いになりました。年賀状を見て新年笑顔で迎えて頂けると嬉しいです。2023年も笑顔いっぱいの1年になりますように。





お台所から



子どもたちが継続して楽しんでいるたまごの世界。先日の絵画では大きなたまごに色を塗り、ダンボールを使ってお家作りに挑戦しました。ハサミで切ったり手でちぎった折り紙をグループに分かれてのりで貼っていきました。折り紙の配置のバランスを考えながら一人ひとりがじっくりと楽しんでいました。



かえでフェスティバルの翌日、友達の作品をいぶき・だいちのペアとつぼみ・ひかりのペアで鑑賞しました。友達に自分の作った作品を紹介したり、友達の作品をじっくり見てお互いのすてきなところを見つけていました。「ドーナツがあったよ」、「どうやってつくったんだろう」と子どもたちの声がありました。



「おいしいの中をぼうけんしよう」と劇遊びで子どもたちと物語をつくっていくなかで、「森までいくから森をつくりたい」と声があり、はまかぜに分かれて作りました。葉っぱの形に切るひかり組の友達、葉脈を描くいぶき組の友達と協力しながら一緒に取り組み、「はっぱできたよ」「のりではって」など声を掛け合いみんなで作ることを楽しんでいました。



12月5日 展示食

玄関の「展示コーナー」で今日のメニューを紹介していますが、子どもたちの興味関心を深めるために「その日に使う食材」も紹介しています。先日、展示コーナーに顔をのぞかせて「今日のごはんはなんだろう～」とお母さんとお話ししている姿を嬉しく思います。

メニュー紹介では、子ども達もぬりえで手伝ってくれています。



12月6日 ピーマンカレー

夏からずっと大事に育て、美味しそうなピーマンが採れると厨房に持ってきて「美味しそうな採れたよ!」と報告してくれていました。そのピーマンをカレーにのせてカレーピーマンを作りました。

作り方や材料を聞きに来て自分たちで絵をかいてみたり、「美味しく作れるかな?」と期待を膨らませながら自分たちで好きな大きさに切って種を集めて、美味しく炒めてカレーの上にトッピングしました。

「僕たちが切ったピーマンとパプリカだよ!」と嬉しそうに報告してくれて、「カレーと混ぜて食べるといつもよりとっても美味しかった!」と大興奮でした。ピーマンをきっかけにたくさんコミュニケーションをとることができ、他の食材にも興味をもって来てとっても嬉しかったです。



12月12日 ブロッコリー

いつも食べる時は小さく切ってあるブロッコリーですが実際に大きいブロッコリーを見せてあげて触ったり持ってもらいました。

「これがブロッコリー?」「すごく固いよ」「なんで固いの?」といつも食べているブロッコリーとは違うことに驚きながら興味津々の様子でした。

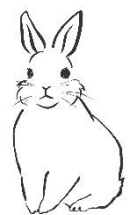
「お湯のなかにグツグツさせてみんなが食べれるくらいに柔らかくするんだよ」と説明すると想像を膨らませながら少し驚いているようでした。実際にみて触ってもらうことでお昼ごはんの食べている時も「さっきのブロッコリーだ!」と嬉しそうに食べている様子でとっても嬉しかったです。

こういった経験をする機会をたくさん作り子ども達の興味を持つきっかけになればと思います。



1月に行う予定の食育活動

- ・1月6日のおやつに七草がゆを提供し子どもたちに七草を紹介します。
- ・引き続き季節の野菜であったり子どもたちが興味を持っている食材など積極的に紹介し、食材に触れる機会をつくっていきたいと思います。



先生たちのメッセージ

明けましておめでとうございます。新たな1年のはじまり、皆さまいかがお過ごしでしょうか。私にとってのお正月といえば幼いころから、祖父母の家に集まりみんなで机を囲みおせちを食べ、ゆっくりした時間を過ごすことが定番でした。おせちを食べお腹いっぱいになった後は、国語の教師をしていた祖父に誘われ従姉妹達と書初めをすることが楽しみの1つでした。

まだ字を書けない赤ちゃんの頃から墨のついた筆を手に持ち、分からないながらも半紙に向かっていました。大きく名前を書いただけの時も、「努力」と大雑把な目標を掲げた時も、祖父が丁寧に神棚の近くに飾ってくれることが幼いながらも嬉しかったことを覚えています。

コロナが流行してからは家族が集う機会も少なくなってしまいましたが、今年は従姉妹達と久しぶりの書初めを楽しみたいと思います。

皆様には幼いころからのお正月の過ごし方がありますか？家族が集まりほっこりと温かい時間はきっと子どもたちの心にも記憶にも残り続けるだろうと思います。

皆様良いお正月をお過ごし下さい。

尾崎 美緒

保育園が大好きで、毎日楽しく通っています。週末には「今日保育園お休み？」「保育園行きたいなあ～」と言っています。保育園で覚えてきたダンスをひたすら披露してくれる毎日で少し癖のある娘のダンスと、「上手いでしょ？」と言わんばかりの表情が愛おしく、ついつい「もう一回して～」と言ってしまいます。

ふたば組 かおりさん



保護者からのエピソード

「今日〇〇ちゃんと遊んでねー」と楽しそうに話してくれる娘と、「今日あったこと？ 忘れたー覚えてない」と言う息子。性格は正反対ですが、2人ともそれぞれ保育園での生活を楽しんでいるようです。

つぼみ・だいち組 ゆきさん

家に帰るときや寝る前に今日お友だちとおしゃべりしたことや楽しく遊んだあそびを教えてください。最近は絵本で分からないことを聞いてきたりするのでとても成長を感じます。

いぶき組 なつこさん

お迎えに行くと、幼児クラスのお姉さんたちが頭をよしよしなでくれたり、バイバイしに来てくれます。かわいがってくれていてとっても嬉しいです。いつもありがとうね。

めばえ組 ゆかさん

朝起きて「今日保育園？」の質問を受けることが多く、「そうだよ」というと嬉しそうに笑って、「おやすみだよ～」の時は、すぐさま目に涙が!!なので、起床してきたら、今日はその質問を受けるのかドキドキしています。お迎えにいても、先生から離れずべったりで、その様子を見て「今日も楽しかったんだね」と感じる毎日です。

いぶき組 ゆきさん

我が家では夕食の時に、今日の出来事をみんなで話し合うようにしており、息子は「今日はサッカーして2点取った!」「長縄で125回跳べた♪」と毎日たくさん遊んだことを教えてください。その話の端々に先生や友だちの存在が感じ取れ、嬉しく思います。いつも息子を支えてくれている友だちや先生方に感謝です。

ひかり組 まさしさん

泣いている時に先生やお友達から声かけをしてもらったことが嬉しかったようで、自分も真似をして同じようにお友達にも声かけをしているようでとても温かい気持ちになりました。

つぼみ組 ひろみさん

あそびへの思い

めばえ

新年の幕開け、まだまだ寒い日が続きますね。めばえ組のみんなと過ごすのも残りあと少し。たくさんの思い出を作れるよう、3か月共に過ごしていきたいと思います。部屋ではパズル遊びが人気で、丸や三角の形やキリンやワニの動物のパズルで遊んでいます。保育者にパズルを見せて「やって」とお願いすることもあり、「ここかな？」と一緒に考えながら遊びを楽しんでいます。繰り返していくことで数日後には「ひとりでできた」と嬉しそうに拍手をして喜びできたことを嬉しそうに教えてくれます。子どもたちの“できた”という喜びが次の興味に繋がっていかれたらと思います。

宝田聖美 小坂橋円香 峰夏音

ふたば

寒い日が増え、園庭に出る前には上着や靴を準備することが習慣になってきました。上着に手を通したり、靴下を履こうとしたり難しいところは保育者に「手伝って」と言いながらも自分でやってみようと取り組んでいます。最近では友だちがしている遊びに興味をもち同じ遊びをしたり、隣に並んで遊んだりするようになってきました。「いらっしゃいませ。なにがいいですか」「どうぞ」など保育者だけでなく子ども同士で言葉のやり取りをしながら遊べるようになってきました。自分の思いが上手く伝わらず葛藤する姿もありますが、保育者に気持ちを代弁してもらいながら友だちとの関わり方も変化してきました。

ふたば組で過ごす生活も残り3か月となりました。少しずつ友だちとの関わりを楽しむ姿が増えてきた子ども達が、互いの存在を心地よく感じられるよう過ごしていきたいと思います。

福井真裕子 尾崎美緒 西田汐里菜

つぼみ

寒さの厳しい季節。白い息を吐きながらも、子どもたちは元気に園庭を走り回っています。子どもたちからも「寒いね」と話す姿がみられたので、「おててを合わせて、「は〜」と息を掛けるとあったかくなるよ。」と伝えてみました。お友だちと集まり、「あったかいね」とほほ笑む姿に保育者も心まで温かくなりました。

12月から歌っている歌「お正月」。「は〜やく こいこい おしょうがつ〜」と手振りを付けて歌いました。歌詞に登場するこま遊びや凧揚げ、神社への初詣など正月ならではの遊びも一緒に楽しみながら過ごしていきたいと思います。

立田瑛怜菜 小寺涼香 近藤幸音

いぶき

寒い日が続いていますが、「おそといきたい！」と帽子を被り、園庭が大好きでたまらない子どもたちです。園庭ではかごめかごめや鬼ごっこ等集団遊びを楽しむ姿が増えてきました。かごめかごめでは順番に真ん中に座る役をし、後ろの友だちが誰か当てることや「かごめかごめ」と声を揃えて歌うことを楽しんでいます。鬼ごっこでは、鬼と逃げる人に分かれる際「ど・ち・ら・に・し・よ・う・か・な・てんのかみさまの…」と数え歌をして決めています。これからも遊びを通して友だちと関わる喜びや嬉しさを感じながら、新しい一年の始まりを楽しく過ごしていきたいと思います。

小坂美紗

ひかり

あっという間に新しい年が始まりました。ついこの間までいぶき組だったのにな…と保育者も子どもも1年を振り返りながら今では、たくさんの人と関わり、心を育ませながら日々過ごしています。最近では、だいち組が園外に行く様子や合奏する様子を見ていると「ひかりさんもやってみたい」「だいちさんになったらできるの？」と来年度に向けて少しずつ楽しい気持ちや興味もでてきているように感じます。かえでフェスティバルでは子ども達の作品や発表を通して、自由に表現する楽しさや思いのこもった作品を見ていただけたかと思います。一人ひとりの興味のあることが今後も継続して楽しむことができるように見守っていきます。2023年も子どもたちの“楽しい！おもしろい！”でいっぱいになりますように。

日笠加菜



だいち

かえでフェスティバルが終わった後、ひみつの時間にみんなで1年を振り返りました。甲山やしあわせの村、西宮の町探検、南京町、廃線敷など様々な場所に出かけたこと、運動発表会やきつとできるだいぼうけんの日、かえでフェスティバルなど行事を終える度にだいち組が一つとなり絆が深まっていきました。また、その体験からSDGsや世界地図、生き物、たね、ゴーヤ隊など一人ひとりが興味のあることを見つけ取り組めるようになりました。「あと3ヶ月で小学生だね」と伝えると「楽しみ！」と喜ぶ一方で、「いやだ」と保育園から離れることが悲しいと気持ちを聞かせてくれた子どももいました。残りの3ヶ月でやりたいこと・挑戦したいことを尋ねると「〇〇くんともっとサッカーしたい」「もういっかい運動発表会したい」などたくさんの願いを聞かせてくれました。16人で過ごす保育園での3ヶ月を大切に過ごし、就学に向けて楽しい気持ち膨らんでいくよう過ごしていきたいと思います。

松岡桃花

はまかせ

いぶき組ひかり組の子どもたちは、はま・かぜのグループに分かれて楽器遊びや劇遊びを楽しんできました。楽器遊びでは、ひかり組がいぶき組に楽器の持ち方を優しく伝えていたり、楽器を奏でるのを楽しんだりしていました。これまでも楽器コーナーで普段歌っている曲を奏でたり、リズムを打ったりしていましたが、より楽器が身近に感じ、異年齢で混ざって音楽と一緒に楽しむ姿が見られるようになりました。また、だいち組の演奏している姿を見て「かっこよかった」や「だいちさんの曲を私もやってみたい」と子どもたちの率直な感想がありました。異年齢の関わりだからこそ、ちょっと難しいことにもやってみたいという気持ちや憧れを抱く気持ちをもっています。やってみたい気持ちを支えてくれる友達の存在がいることを感じ、互いに認め合えるような関わりを大切にしていきます。

坂本春佳 星加由美子